

土木技術者女性の会

輪人

2014 年度総会特別号

目次

- 01 巻頭言 : 須田久美子「好きなことを仕事にする」
〈運営委員(人材育成担当)/旧・法人化検討 WG リーダー〉

03 土木技術者女性の会 第 33 回総会
一般社団法人土木技術者女性の会 第 2 回総会
開催報告

04 | 土木技術者女性の会 第 33 回総会 および 一般社団法人土木技術者女性の会 第 2 回総会
(6/21 9:00-12:30)

05 | 現場見学会 フォトレポート(6/20 13:15-17:30)

08 | 懇親会レポート(6/20 18:15-20:15)

09 | 参加者の感想

渡辺弘子「大阪には楽しいことがいっぱいあったんやでえ(大阪にはいっぱいあるんやでえ〜の歌)」(東日本支部)

青木治子「初めての総会に出席して(祝☆女子会)」(中部支部)/藤代祥子「心強い居場所」(中部支部)

後田真里「多くの先輩方との出会い」(西日本支部)/濱本夏美「総会(現場見学会)の感想」(西日本支部)

16 会員のページ 私の特効薬

15 活動状況 2014 年度イベント報告

16 ≪フォトレポート≫東日本支部 場見学会:
東日本大震災 仙台沿岸部復旧工事

21 土木系女子学生のためのキャリアセミナー:
『土木の仕事の魅力と私たちの働き方
2014』開催報告

23 組織体制

24 内閣府「平成 26 年度女性のチャレン
ジ賞」受賞及び一般社団法人化のお知らせ

25 寄附制度のご案内

26 編集後記

〈別冊〉

土木技術者女性の会 関連記事

2014.03.31 千代田区男女共同参画センター情報誌 Vol.34,pp.4-5
MIW 通信「特集 1 広がる仕事 女性たちの挑戦」/2014.04 札幌市市
民まちづくり局男女共同参画室男女共同参画課「さっぽろ女子、仕事を
語る。ー札幌の女性ロールモデル集」/2014.04 東日本保証広報誌
「EAST TIMES」2014 春号, pp.4-7./「特集 のばす:才能を伸ばす、土
木の領域広げる新しい分野で女性が活躍する可能性」/2014.06.24
日刊建設工業新聞 p.2、10/「各団体の総会:一般社団としてスタート/
土木技術者女性の会」/「土木技術者女性の会/阪神高速西船場 JCT
改築現場など見学」/2014.06.30 日刊建設工業新聞 pp.2-3
「座談会:女性が活躍できる現場づくりと魅力アップ」/2014.07 平成 25
年版 国土交通白書 pp.116-117「コラム「ドボジョ」~Civil Engineering
の世界で働く女性たち~」/2014.07.01 日刊建設工業新聞 p.18「土
木技術者女性の会「女性のチャレンジ賞」受賞/「ドボジョ」普及に貢献」/
2014.07.09 建設経済新聞「土木技術者女性の会/「女性のチャレンジ
賞」受賞」/2014.07.01 北海道建設新聞「土木技術者女性の会が女
性のチャレンジ賞に/内閣府「ドボジョ」の普及など評価」/2014.07.24
新婦人しんぶん p.2「「ドボジョ」が話題! 女性たちの進出が多様な土木
の未来を拓く」/2014.08.25 日本経済新聞 p.16 建設産業戦略的広報
推進協議会:【広告】「建設業なでしこ座談会/もっと女性が活躍できる
建設業へ」/2014.10.15 建設通信新聞 p.6 「東北で初、約 60 人参加
/土木技術者女性の会東日本支部ら/仙台沿岸部復旧現場を見学」/
2014.10.15 日刊建設産業新聞 p.3「命を守るインフラ整備へ女性技術
者のネットワーク充実を/東日本大震災復旧・復興工事を見学/延 100
人超の女性技術者が参加/土木学会東北・女性の会東日本支部」/
2014.10.16 日刊建設工業新聞「鳥取県土木学会中国/25 日にイメー
ジアップシンボ」/2014.11.11 日刊建設工業新聞 p.2「土木技術者女
性の会/学生向けキャリアセミナー開く/仕事の魅力や働き方紹介」/
2014.11.11 日刊建設通信新聞 p.2「魅力と働き方 ヒント伝授 土木技
術者女性の会東日本支部がセミナー」

その他の記事 TV 放映



〈巻頭言〉

好きなことを仕事にする

須田久美子〈運営委員(人材育成担当)/旧・法人化検討 WGリーダー〉

「好きなことを仕事にする」ことを進路選択前の高校生や就活前の大学生に勧めている。仕事を続けるためには必要だと考えているからだ。特にやりがいや生きがいが人生を豊かにしてくれると思えるようになった今だからこそ強く思う。

若い頃は世間に振り回されて、これから何が流行るか？ どんな仕事安定しているか？ 勝組に入れるか？ と不安になった。先生や上司は、「安定した生活＝幸せ」と勝手に決めつけて、資産家の息子を見合い相手に薦めてきた。大人はツイツイ子供に無責任な考えを押し付けてしまう。小さい頃から言われ続けていると、子供は好きなことがあってもだんだん口に出せなくなってしまう。

ところが今は、女性にもっと働いて欲しいという時代になった。自立した生活をするには当然働いてお金を稼ぐ必要がある。どうせ働くならば「やりがいと生きがいを感じることができる」好きなことを仕事にしよう。

「土木技術者」のように専門的な技術を身に付けて社会貢献をする職業には、心の底からこの仕事にやりがいを感じる女性が集まってくるに違いない。

— 昨年暮れに、たまたま点けていたテレビからこんなセリフが流れてきた。

「人の幸せとは、人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人に必要とされること、であると言う。愛はともかく、あとの三つは仕事で得られるものである」

日本理化学工業(株)の大山隆久社長が禅寺のお坊さんから教えられた言葉だそう。大山社長はさらに「その愛も一生懸命働くことによって得られるものだと思う」と続けた。「土木技術者」の仕事は、まさに「幸せ」を得るにはうってつけの職業である。

しかし、やりがいを感じて仕事を選ぶ子供達には数々の障害が待っている。女子学生向けの理工系分野選択情報発信のイベントに協力すると、女子学生とその親御さんにお会いする。目を輝かせていろいろな理工系分野のブースを覗き込んでいる女子学生の後ろで、お父さん、お母さんは心配そう。わざわざそんなイベントに足を運んでくる積極的な親子ですらそう。一人で抱え込んでいる女子学生がどんなにか多いことか。就職支援パンフレット『Civil Engineer への扉』の注文メールには「土木技術者に興味があるけど両親から理系に進むことを反対されています。説得したいので女性でも働いている人がたくさんいることを教えてください」という女子高校生がいる

一方で、「孫が勝手に土木工学科に入ってしまった。どんな仕事があるのか心配です」という声もある。やる気があっても専門的な勉強を始める前にブレーキがかかってしまう。

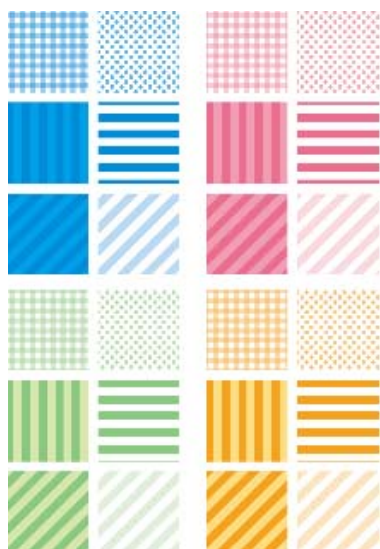
やる気のある女性が土木界に入ってからはどうだろう。厚生労働省が平成 20 年に行った賃金構造基本統計調査のうち測量技術者を例に平均年収、平均年齢および平均勤続年数を見てみよう。測量技術者に占める女性の比率は 3%程度である。土木技術者と同様な比率(土木学会会員は 4.2%(正会員は 3.1%))であり、女性比率は圧倒的に少ない。測量技術者の平均年収は男性が約 420 万円に対し、女性が約 330 万円、平均年齢が 41 歳に対して 33 歳、平均勤続年数が 13 年に対して 8 年である。測量技術者になっても、10 年足らずで辞めている。仕事を続けられない女性の姿が浮かび上がってくる。仕事を続けられない理由はさまざまだろうが、がんばりすぎて空回りしてしまうケースが多い。女性の少ない職場では仕事を続けるノウハウを伝授してくれる先輩女性が不足しているからだ。

高校生の頃の私は、職業選択の自由をまともに信じていた。何になるのか真剣に悩んだ。がんばれば何にでもなれると思っていた。土木工学科への進学を決めたときにも、誰にも相談しなかったし、誰にも反対されなかった。今思えばとても幸運だった。第二次オイルショックの後で「建設冬の時代」と言われた頃だ。3K(きつい、汚い、危険)職場と言われ始めたのもその頃からだ。大学卒業後は迷わずゼネコンに就職したが、これも自分で決めた。世の中の動きに鈍感だったこともあるが、「体の中が充実感で一杯になるような好きなことをやって給料がもらえる、こんな嬉しいことはない」と思えた。土木技術者として一人前になるためには経験が大事。長く続けることに努めた。仕事は一生続けるのが当たり前と考えていた。ハラハラドキドキを顔に出さず静かに見守ってくれた両親・家族に感謝している。厳しくも大らかに受け入れてくれた職場の先輩・同僚に感謝している。

好きなことを仕事にする時代に向けて土木界が行うことは何だろう。これまで女性の「土木技術者」が少なかったことは土木界の一つの強みである。女性は必ずやりがいを感じて土木の世界に飛び込んでくる。やる気のある女性を厳しく鍛えて土木界の戦力にしていく。男性と同数になれば土木界としては「土木技術者」が二倍に増える計算だ。戦力にするためには女性の多様な働き方に業界全体が答えていかなければならない。女性土木技術者の育成プログラムには、先輩女性に代わって土木界全体が仕事を続けるためのノウハウを組み込んでいかなければならない。

土木技術者女性の会は、発足当初から、横の繋がりを強くして自己研鑽を図り、ロールモデルの「見える化」で後進育成を続けてきた。先輩から受けた恩は後輩に返していく。土木技術者女性の会の活動の結晶が「どぼく未来宣言」である。そんな活動が「内閣府平成 26 年度 女性のチャレンジ賞」につながったと思う。一般社団法人になって、さらに活動の枠と影響力を拡大できるだろう。

土木界は自分たちで変える。誰かに変えてもらおうと思っているうちは、たぶん、変わらない。坑内労働禁止規定もそうだった。時代の要請で、そのうち変わるだろうとタカをくくっていたら、労働基準法最後の「女性」禁止規定に残ってしまった。土木技術者女性の会が自ら規制緩和を要望して法律改正が実現した。「女性だから働きにくい」という思い込みは捨て、女性活躍推進の機運を後押しに、自ら土木界を働き甲斐のある魅力ある職場にしていこう。好きなことを仕事にしたからこそ、こう思えるようになった。



土木技術者女性の会 第33回総会

一般社団法人土木技術者女性の会 第2回総会

開催報告

担当：西日本支部

日にち：2014年6月20日(金)-21日(土)

6/20 **現場見学会**:CPD: JSCE14-0092 4.0 単位

①13:15～ 大阪府 津波・高潮ステーション

<http://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/tsunami/index.html>

②14:30～ 阪神高速道路(株) 西船場JCT改築事業

<http://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/nishisemba/index.html>

工事名：西船場JCT下部その他工事

工期：2013年7月4日～2016年5月31日

工種：鋼製橋脚基礎工 フーチング補強工 RC 橋脚改築工

PC 3 径間連続中空床版ラーメン橋工 既設構造物撤去工 他

懇親会 18:15～(大阪市中央区)



6/21 **総会** 9:30～

ドーンセンター5階 セミナー室1(大阪市中央区)



土木技術者女性の会 第33回総会 および 一般社団法人土木技術者女性の会 第2回総会

日時:6月21日(土) 9:30-12:30 出席者:41名(第2回総会40名)、委任状64名

一般社団法人土木技術者女性の会は、代表理事を桑野会長とする社員3名(桑野、時弘、龍)の新法人として、2013年11月18日、土木の日に設立されました。2014年3月17日に、第1回総会が開催され、「任意団体からの財産の移管」「理事の改選」「一般規則の制定」を決定しました。そして、4月1日に、任意団体土木技術者女性の会からの会員を受け入れ、財産の移管を完了しました。

6月21日(土)、土木技術者女性の会 第33回総会 および 一般社団法人土木技術者女性の会 第2回総会が、大阪市中央区にて開催され、平成25年度活動報告および決算報告、平成26年度事業計画および予算計画が承認されました。

運営委員選任では、一般社団法人土木技術者女性の会として、桑野会長の留任が承認され、新しい運営体制・運営委員が紹介されました。

議事次第

開会

1-6-3 冊子販売管理 WG

1-6-4 企画 WG

I.はじめに

1-6-5 Web 掲示板 WG

1. 会長挨拶

1-6-6 30周年記念総会 WG

2. 開催趣旨説明

1-6-7 法人化検討 WG

2. 2013年度 決算報告

II. 土木技術者女性の会第33回総会

2-1 2013年度 決算報告

1. 2013年度 活動報告

3. 解散宣言

1-1 役員会報告

1-1-1 総会后役員会議事録

1-1-2 第1回臨時役員会議事録

1-1-3 総会前役員会議事録(兼 新法人第1回運営委員会)

1-2 事務局報告

1-3 第32回総会報告

1-4 地区活動報告

1-4-1 北海道地区活動報告

1-4-2 関東地区活動報告

1-4-3 中部地区活動報告

1-4-4 関西地区活動報告

1-5 「輪」編集・発行報告

1-6 ワーキング活動報告

1-6-1 坑内労働規制緩和 WG

1-6-2 ホームページ運用 WG

III. 一般社団法人土木技術者女性の会第2回総会

第1号議案:2013年度 事業報告

1) 総会 / 2) 会員動向 / 3) 事務局

第2号議案:2013年度 決算報告

第3号議案:ワーキンググループの設置について(案)

第4号議案:運営委員および会計監査委員の選任について(案)

第5号議案:2014年度 事業計画(案)

第6号議案:2014年度 予算計画(案)

IV.意見交換

閉会

詳細は、ウェブサイトの会員ページにある総会資料をご覧ください



現場見学会 フォトレポート

日時:6月20日(金)13:15-17:30 参加者:28名

総会の前日に、津波・高潮ステーション、西船場JCT下部その他工事の現場見学会を開催しました。

津波・高潮ステーションでは、大阪を襲った三大台風(室戸台風/1934年、ジェーン台風/1950年、第二室戸台風/1961年)の被害と高潮対策の展示について説明を受け、南海トラフ巨大地震を想定した「津波災害体験シアター」を視聴しました。

西船場JCT下部工事では、事業概要説明・工事概要説明の後現場に向かい、地下鉄工事との近接状況や、交通量が非常に多い道路を占用した狭小な作業ヤードを確認し、市街地での施工について随時質疑応答しながら見学を行いました。

現地での説明に続き、阪神高速道路(株)の今後の事業説明、保有技術の紹介、阪神淡路大震災の記録についてご用意いただいたDVDを視聴し、最後に阪神高速グループの女性技術者5名と意見交換を行いました。

当日は日刊建設工業新聞社およびTBS「いっぷく!」の取材があり、新聞記事は6月24日(火)付で、TV放送は7月14日(月)に、翌21日に実施された総会と共に紹介されました。(→別冊 関連記事 p.8)

大阪府 津波・高潮ステーション (大阪市西区江之子島2目1-64)

まずはじめに、津波の特徴や被害についてのビデオを視聴し、その後、館内の展示を見てまわりました。館内展示は大阪を襲った台風、高潮の記録的被害等が写真とともに解説されています。次のコーナーでは防潮鉄扉を実際に動かし、高潮被害を抑えるための方策を学び、日本各地で過去に起こった津波・高潮被害を後世まで伝える展示も見学しました。最後に、津波災害体感シアターで、正面はもちろん上下左右の面もスクリーン投影された津波のリアリティある映像を視聴しました。津波から自分の身を守るための啓発的な内容ではありましたが、東日本大震災での津波の記憶が鮮明なこともあって、会員の思いはいろいろであったようです。



マスコットキャラクターの「なみのすけ」くんがお出迎え



防潮鉄扉(実物)を実際に動かし、どのように高潮を防ぐのか、説明を聞きました

過去の台風・高潮被害についての展示があります
大阪がいかにか多く被害に遭っていたのかがわかります





津波災害体感シアターでの津波映像の視聴の様子です
(出典:大阪府 HP)



館内は説明員の方が同行し、丁寧に解説してくださいました



津波・高潮ステーション パンフレット

(大阪府 HP より <http://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/tsunami/tsuna-about.html>)



西船場 JCT 下部その他工事

発注者:阪神高速道路(株) 施工者:清水建設(株) (大阪市西区西本町一丁目～三丁目ほか)



現地に向かう前に、工事概要について説明を受けました



地下鉄の近接状況や支保工の様子



線拡幅部の支保工の様子
説明を受けています



約 1km。歩いて現場を確認(破線)
 奥が津波高潮ステーション
 手前が西船場JCT渡り部
 天気がよければ明石海峡大橋も見える(はず)
 直行している線が、これから渡り線で接続されます



奥の水色のバリケードが西船場JCT作業ヤード
 手前黄色は別途地下鉄工事の作業ヤード
 市街地の交通量の多い中での作業です



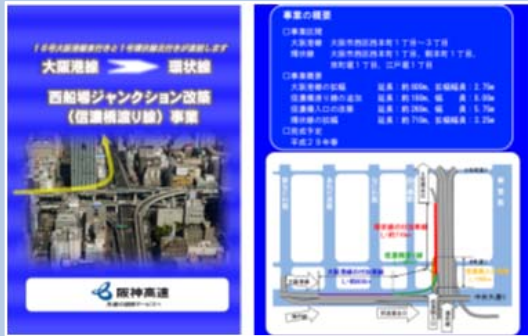
TV取材を受けた番組 TBS「いっぶく！」
 にちなんで、全員で「いっぶくポーズ」



阪神高速道路(株)の今後の事業、保有技術や
 阪神淡路大震災の記録についてご紹介いただきました

引続き、阪神高速グループの女性技術者にお越しいただき意見交
 流会をしました。〈左写真〉建設所長をはじめとする阪神高速道路
 (株)のみなさんと、現場関係者の方も聞き入っておられました





西船場 JCT パンフレット
 (阪神高速(株)HPより <http://www.hanshin-exp.co.jp/company/torikumi/building/nishisemba/index.html>)



見学者全員に配布くださった記念グッズや資料

みなさまご協力ありがとうございました。
 阪神高速道路(株)HP「技術のチカラ」では、今回見学した西船場 JCT の事業説明のほか、保有技術や震災の記録等が紹介されています。ぜひ、ご覧ください。
<http://skill.hanshin-exp.co.jp/>

報告: 古谷祥恵・牛山育子(西日本支部)




懇親会レポート

日時: 6月20日(金)18:15-20:15 参加者: 37名

見学会終了後、本町付近のお店で懇親会を開催しました。自己紹介のコーナーでは、壁に掲示された“テーマ”をもとに、仕事の悩み、個性的な趣味の話、会に入ってきたきっかけなど、興味深い話ばかりでおいに場が盛り上がりました。タイムキーパーの「チーン！」というベルの音も絶妙なタイミングで、あっという間の2時間でした。お店の定員ギリギリの37名という多くの方に参加していただき、全国から集まったドボジョ同士、より一層親睦を深めることができましたと思います。

報告: 深瀬尚子(西日本支部)




土木技術者女性の会

1. 入会して良かった事 or 残念だった事。
2. 仕事の苦労話(愚痴OK)。
3. いまハマっていること。
4. 懺悔 -ざんげ-
5. ここだけの話 *取扱注意。
6. なぜ入会しようと思ったのか(“自称”35才以下の方限定)。



参加者の感想

渡辺弘子さん/青木治子さん/藤代祥子さん/後田真里さん/濱本夏美さん(順不同)



大阪には楽しいことがいっぱいあったんやでえ
(「大阪にはいっぱいあるんやでえ〜の歌」)

渡辺弘子(東日本支部)

6月の第3週、第4週の週末はなるべく予定を入れずに空けてある。どちらかに総会があることがわかっているからだ。とは言っても、仕事の都合もあり、家庭の都合もあり、長年使い続けている自分自身の身体の都合もあり、さらには、先の震災の影響もあり、なかなか思うようにはいかないことが多い。だが、ありがたいことに今年はそれらをすべてクリアして、数年ぶりに見学会、懇親会、総会のすべてに参加した。

6月20日金曜の朝、口笛を吹きながら仙台空港へ車を飛ばす(制限速度内)。復興工事の盛んないま、沿岸部に向かう道路には工事車両が行き交っている。みんな色別の「工事車両マスク」をつけているので、誰が、何のために、何を、どこへ、運んでいるのか一目でわかる。みなさん、ありがとう。ちょっと大阪へいってきます。



ビューとひとつ飛び大阪へ。まずは見学会その1。神奈川以北にしか住んだことのない私は関東以西の地理勘に乏しく、西日本上空にはいつも霞がかかっている。大阪の街のずいぶん広い範囲が海面よりも低いとは知らなかった。『津波・高潮ステーション』でそれを知る。高潮災害の歴史も当時の写真を見て初めて実感した。そのうちの1枚の写真に、コンクリート屋として喜ぶ。津波災害体感シアターは不覚にも涙した。3.11 津波被害を繰り返しちゃいけない。



続いて見学会その2。阪神高速道路(株)西船場 JCT 改築工事現場へ。暑いなか(仙台から来ると大阪は熱帯)、阪高やJVの方々が付いて歩いて説明して下さる。拡幅部は、縦目地を設けない構造で走行性や安全性に配慮しているそうだ。見えないところで私たちは安全や快適を提供されている。同社は今年で50周年と知る。あら、同い年。阪高の女性技術職の方々と懇談もでき、同社の男女の無格差に驚く。驚いてちゃいけないな。

そして、本日のメインイベント、懇親会。1年ぶりに会う顔がほとんどで数年ぶりも珍しくない。なのに、そのブランクを感じない。共感できる仲間とはそういうものか。1年を長いと感じないほどに大人になったということもある。たとえ100%元気でなくても再会できたことが嬉しい。大阪の旨い料理と飲み放題の酒と尽きないおしゃべりで、みんなの夜は更けていく。



翌日はいよいよ総会だ。あ、もう紙面がない。総会の様子はどなたかに任せる。今回は任意団体として最後の、そして一般社団法人として実質最初の総会だった。ここまでの道のりは平坦でなかったと思う。役員改め運営委員のみなさん、ありがとう。そして、関西地区改め西日本支部のみなさん、ありがとう。会員のみなさん、万障繰り合わせてぜひまた来年会いましょう！



初めての総会に出席して(祝☆女子会)
青木治子(中部支部)

今年の4月に入会させていただきました。そして、6月に大阪で総会が開催される、との事で、右も左もわからない状態でしたが決死の覚悟(?)で参加させていただきました。

私が入会した理由は、総会・懇親会の場でもお話させていただきましたが、技術士二次試験の口頭試験場で、とある男性の方に当会のことを知っていますか、と声を掛けていただき、さらに「敷居は高くないですよ」と笑顔で入会を勧められました。学生の頃より周りは男性ばかりの中で生活をしており、就職してからもその状況は変わりません。そのお蔭で(?)女性と会話することが苦手となっしまい、これは自分の苦手分野を克服する良いチャンスだ！と一念発起した次第です。

夕方の懇親会より参加させていただきましたが、正直、大阪に向かう新幹線の中、いや、参加を決めた日から(大げさ)、大丈夫かな、話できるかな、浮かないかな、といろいろと心配しておりました。しかし、そんな心配は杞憂に終わり、くじ引き(しかもアメちゃん♪)で決まった席では周りのみなさまと、本当に初対面? というぐらい打ち解けて会話をすることができました。ご一緒させていただいたみなさま、ありがとうございます。そして、二次会、三次会と…。本当に楽しかったです。

翌日の総会では、一般社団法人としての初めての全体総会ということで、ここまでの道のりを歩んでこられた諸先輩方のご苦労と、そして喜びが伝わってくる時間でした。貴重な時間を過ごすことができたと、感謝しています。

私は、入社して十数年、孤軍奮闘(ちょっと大げさですが)してきましたが、今回、良い仲間に出会えたことはとても嬉しく、心強く、これからもがんばっていこう、と非常に励みとなりました。今後とも、よろしくお願いいたします。さて、来年北海道に行くために貯金をせねば!



心強い居場所
藤代祥子(中部支部)

私は、昨年当会に入会し、今回初めて総会に出席しました。

入会のきっかけは、他社の女性技術者がどのような働き方や取組みをされているのを知り、意見交換をしたいという想いからでした。弊社は、毎年2名程度ですが、継続して女性技術者が入社するようになりました。そのため、それまで主に研究や設計の部署に配属されていた女性技術者が、入社後すぐに現場へ配属されるようになりました。しかし、すべての現場で女性も働きやすい環境が整えられているわけでもなく、トイレをはじめとした現場環境の課題が多く残されています。会を通じてさまざまな方と交流できることで、改善につながるきっかけづくりや女性技術者として成長できる場となればと思っております。

今年は、「土木技術者女性の会 第33回 および 一般社団法人土木技術者女性の会 第2回」の総会が開催されました。総会に合わせ、事前に2件の見学会と懇親会がありました。

まず、大阪府 津波・高波ステーションの見学会からはじまりました。津波災害の歴史や防災対策、津波がどの程度の速さで到達するかなど、わかりやすい展示や解説で津波への認識を深めました。いまさらですが、津波は水深500m程度でも新幹線並みの時速250km程度で押し寄せてくることを知り、「津波が見えてから逃げては

間に合わない」という意味を改めて理解しました。さらに、津波災害体感シアター(ダイナキューブ)で津波を疑似体験するコーナーもあり“無料”とは信じがたい充実した施設でした。

次に、阪神高速道路(株)西船場 JCT 改築事業の現場を見学しました。工事は本格的に始まっていませんでしたが、各々の分野から投げかけられる質問に阪神高速道路(株)や清水建設(株)の担当者様に丁寧にお答えいいただきました。しばらく先とのことですが、私は地下施設との離隔がわずか 1.2m 程度で行われる杭工事にとても興味を持ちました。

懇親会は、六味酒肴 QU にて行われました。名刺交換をしながらそれぞれの職場の話をついたり、幹事より出された5つのお題から進む一人ひとりの自己紹介で盛り上がりました。ちなみに、店長さんが女性だと紹介された瞬間は大きな歓声があがり、気持ちの良い連帯感を感じました。

次の日の総会は、ここまでキッチリ進めるのかと思うほど厳かな雰囲気の中、淡々と進みました。会長からは、法人化についてや会員が 200 名を突破したこと、会の発展に向けてのお話があり少しずつでもその一員になっていけたらと思いました。昨日までの盛り上がりで総会の真面目さのギャップに驚くなか、隣に座っていた S さんからのひとこと「このような総会でのお菓子が配られるのが女性ならではのよね～」にほっこりしました。


最後に、取材に来ていた男性から「会社も違うのに、みなさん何でそんなに仲が良いのですか？」と質問を受けた際に「ドボジョだからです！」と即答されていた M 姐さんがとても印象的でした。

今回、企画や準備をはじめご尽力いただきました西日本支部のみなさま、本当にありがとうございました。今後もさまざまなイベントでみなさまとお会いし、交流できればと思いますのでよろしくお願い致します。




みんなそろって、ドボジョです




 多くの先輩方との出会い
 後田真里(西日本支部)

私は、「土木技術者女性の会」入会前に今回の総会にお誘いいただきました。最初は、知らない先輩方の中に飛び込むことが怖かったのですが、さまざまな先輩方とお話しがしてみたいと思い参加しました。入社して、会社で同じ土木技術者として働く女性の先輩方とお会いする機会はありませんでしたが、なかなか他社の方にお会いする機会はありませんでした。今回見学会、懇親会、そして総会に参加させていただいて、強く感じたことは、先輩方の「未来へと進む力」でした。結婚、出産、育児を経験され、さまざまな悩みを乗り越えて、それぞれの場所で活躍されている先輩方がとても輝いて見えました。見学会や総会でも、活発な意見が出ていて、土木技術者として活躍されていることが伝わってきました。先輩方の力強さ、元気で明るく前に進んでいる姿を間近で見て、感じることができたことが、私にとってこの総会での最大の収穫です。今回私が感じたことが、私の次の世代の女性土木技術者へと伝わっていくように、私も先輩方に負けないように頑張りたいと思いました。一般社団法人化され、この「土木技術者女性の会」の活動がさらに活発化されるように、まずは自分自身の場所で先輩方に負けなくらい輝いてみたいです。




 総会(現場見学会)の感想
 濱本夏美(西日本支部)

今回は西日本支部での開催ということで、私も少しお手伝いをさせていただきました。昨年の冬に入会したばかりの私は、会の活動に参加するのが初めてだったのですが、総会の事前打合せでは、みなさんとても熱心に取り組まれていて驚きました。単に見学会を企画して、集まった人たちだけが楽しければいいという感じではなく、多くの人に集ってもらい、みんなが良かった！と思えるような活動をしようとしているのがわかりました。例えば、「子供を預けられるところがほしいよね」「駅構内の詳しい地図があるほうがいい」「懇親会会場の下見もしないと」など気配りをされていて、私もこういうところを見習わないと！といきなり勉強になりました。

都合により総会には参加できなかったため、前日の現場見学会のみの参加でした。見学会では津波・高波ステーションと、阪神高速道路の西船場 JCT 工事現場に行きました。

津波・高波ステーションでは、過去の被害写真やイメージ映像などが展示されていました。このようなところを見学したことがなかったので、よい経験になりました。構造物が完成した後、どのように使われていくか、どのような災害に見舞われるのかをイメージして仕事をするのも、土木技術者として大切なことだと感じました。

JCT 工事現場は、地下鉄、一般道、供用中の高速道路などに挟まれたところでの工事でした。都心ならではの苦労話なども聞けて良かったです。

他の参加者の方たちとしゃべりながら見学をしていたのですが、話をしているうちに、私も同じ経験をしたことがあって共感できたり、私がなんとなく抱えている不安を乗り越えている方がいらっしゃいました。こういう話ができる土木女性の先輩や同世代の方たちと交流できてよかったです。これからも活動に参加して、交流する機会を増やしていきたいです。

会員のページ

私の特効薬

ここでちょっと一息。「会員のページ」
今回のテーマは「私の特効薬」です。
風邪を引いたとき、落ち込んだときなど、どのように乗り越えていますか？
実際のお薬、食べ物、飲み物、「こんなことして元気になる」など、イロイロな“特効薬”が集まりました。

まずは「これ」でしょ？

私の特効薬は「百薬の長々お酒」です。
近頃はめっきり弱くなり、次の日の現場に支障が出るようになったため、自重しようと思っているのですが、これができません。うちの若い人は「酔う」という行為が、みっともないと思っているようですが、お酒を飲んで酔わない方がもったいないと思っています（怒られるかな）。楽しく飲めば、多少の風邪も吹っ飛びます。そのかわり、楽しく飲むために愚痴や説教ばかりにならないように気をつけています。

♪踊る阿呆に、見る阿呆。

同じ阿呆なら、酔わなきゃそんそん♪♪

日本酒がおいしい季節になりましたね。

(北海道支部)

生姜ってすごい！

特効薬ではないけど、風邪のとき、薬を控えたい授乳中や妊婦さんに勧めたいのが黒砂糖の生姜湯。薄くスライスした生姜と水、黒砂糖、それにシナモン(←ポイントです)を静かに煮立てます。

生姜の香りが立ったらOK。

シナモンにはウィルスを抑える効果があるとか。

お試しください。

(西日本支部)

風邪を引きそうになったとき（喉が痛くなりかけたとき）に、コーレンという蓮根の粉末に塩、生姜に熱湯を注いで飲み、風邪を回避しています。

体がポカポカして、とても効果的です。

(東日本支部)

落ち込んだとき・悲しいとき：

①ふて寝

②飲みに行く（一人ではない）

風邪をひいたとき：

①卵とねぎのおかゆ（胡椒多め）

②玉ねぎと生姜と卵の味噌汁（とりあえず汗をかく）

(東日本支部)

お薬は「これ」

実際のお薬で「命の母A」

今年の夏、急に体調&気持ちが不安定になった際に、藁にもすがる思いで飲んだらテキメンに効きました。お医者様によると、このお薬は「漢方のデパート」みたいなもので、さまざまな種類の漢方が入っているそうです。40代後半から、「最近おかしいな」と思ったらお試しあれ。

(西日本支部)

ゆっくり・まったりでチカラ回復！

私の特効薬は「早寝」です。

困ったとき、疲れたとき、悲しいとき、当惑したとき、そして追い込みが必要なときには、とにかく早寝。なにはなくてもまず早寝。次の朝早くに目が覚めたら、あー不思議、きちんと取り組める気分になります。前の夜、気になって気になってしょうがなかったこだわりのほとんどが雲散霧消し、さらっと片付けることができます。

人生の転機、仕事の締め切り、別れの際などなど、何度お世話になったことか。ありがとう、早寝の神様。でもこんな特効薬にも弱点が…。

「早寝すればなんとかなる」と寝逃げ(?)の癖がついてしまい、夜ふかしができなくなりました。夜の部で口数が少なくなる私を見たら、退屈しているのではなく、寝逃げの癖のせいで眠くなっただけとと思ってくださいね。

(北海道支部)

疲れているときの特効薬は、やっぱり休む事。一日中ゴロゴロはさいこー。玄関のドアを開けたくない私 vs. 公園でもどこでも良いから外へ行きたい家族。いつまで勝てるのか。。

(東日本支部)

本当に疲れた！という日は、お風呂にチョット高級な入浴剤を入れます。ラッシュの“バスボム”



というやつで、野球のボールぐらいの大きさの玉をドボン！ と入れるとシュワシュワーっと溶けてお湯の色が凄い事（真っ黒、とか・・・）になります。

私のお気に入りには「恋の導火線」という、書くだけでも恥ずかしくなる名前のバスボムですが匂いが強烈で、（良い匂いです）次の日まで洗面所がラベンダー畑のような香りに包まれるので気に入っています。

（西日本支部）



わたしたち、読書家！

メゲている時の特效薬は、本を読むこと。好きな作家という訳ではないですが、人間関係に悩む時に、突拍子もない人たちがばかり出てくる伊坂幸太郎の本を読むと吹っ切れます。大好きな作家の世界にどっぷり浸れる時間は、至福の時に変わります。

（東日本支部）



森村桂さんの旅行記『天国に一番近い島』です。子供のとき、どなたかから頂いた、大量の古本の中の1冊でした。

出会ってからずっと、登場人物たちのとりことなり、気分が落ち込んだときには、読み返し、元気をもらいます。50年ほど前の本ですが、大好きです。

（中部支部）



好きなものから元気をもらおうのだ！

私の特效薬は、実家の愛犬（ひめちゃん）と少女漫画です。

彼女の中の序列では、私の方が随分下にみられていますが、撫でているだけで、とても温かい気持ちになります。

実家に帰れないときは、大好きな少女漫画を読みふけるのも、落ち込んでいる時の対処法です。

（中部支部）



カフェ&雑貨屋めぐり

お庭のステキなカフェ、趣味の合う雑貨屋さんに行くと、元気をもらいます。

お店の雰囲気はもちろんです、何よりもその女性オーナーさんとおしゃべりが楽しい！ いきいきと「自分の好きなこと」を仕事にされている女性とおしゃべりすると、パワーをもらえます。

（西日本支部）



応援しているチームの勝利！

翌朝は爽快な目覚め。週末のゲームまで気分よく過ごせます。

連敗が続き、降格圏に入ると…ですが(笑)

オフの1月2月は開幕が待ち遠しく勝ちゲームの録画でテンションを上げています。

（西日本支部）



こんな方法も・・・

私の特效薬、というか、ストレス解消策は「お菓子づくりの生地泡立て」です。最近あまりお菓子づくりができていませんが、子供たちが小さいころは、お持たせのお菓子をつくるのに夢中でした。



主に焼き菓子。スポンジケーキでも、チーズケーキでも、クッキーでも、生地を作るときは必ず「泡立て」作業が発生します。そこで秘蔵の泡立て器が登場！ ちょっとお値段が張ったので、日和りながら買った泡立て器ですが、それを使うときのうれしいこと、うれしいこと。金物のボールをかつんかつん言わせながら、腕の力でぶんぶん生地进行を泡立てます。日頃のうっぴんやら、不満やら、嫌な人のことを考えて「バ〇野郎～」と思いながら、泡立て器をまわします。昔、バドミントンをやっていた関係から、利き腕の腕つぶしの強さは折り紙つき。いずれ卵の白身はメレンゲになり、重たい生地もまとまってきます。その頃には、私の心のもやもやもどこへやら。週末のひとつ、私の心の貴重な解放時間でした…。みなさまもいかがでしょう。おいしいお菓子つきですよ。

（東日本支部）



風邪を引いた時＝酵素浴に入る

発汗作用はサウナの数倍、約15kmのランニングに相当するといわれる酵素浴。

酵素浴を愛し続けて、早5年。毎週末だけでなく、風邪を引いたかな？ と思ったら、即、店に予約！

天然発酵したオガクズの中に15分ほど全身で浸かり、短時間で汗をドバーーーーーと出してホカホカした体のまま、トットと寝ちゃうことです。

治りが早いので、本当に助かります。

（西日本支部）

まとめ：大植敦子（西日本支部）


活動状況



今年度(2014年4-12月)の各支部のイベントは、下記のとおりです

	2014 4-6月	7-9月	10-12月	2013 1-3月
全体	6/20 ⇒p.5 現場見学会・懇親会 6/21 ⇒p.3 土木技術者女性の会 第33回 総会 一般社団法人土木技術者女性の会 第2回 総会 6/21 内閣府「平成26年度女性のチャレンジ賞」受賞 8/8 パネル展示 女子中高生夏の学校2014		女性のチャレンジ賞 表彰式 11/21 「土木学会 100周年記念祝賀会」にて渡辺副会長が鏡割に登壇!!! ↓	
北海道支部	4/4 支部総会 	土木の日パネル展 こばやし峠トンネル作業所	10/25 現場見学会 清水・堀口Vこばやし峠トンネル作業所 11/16-18 土木の日パネル展 女性土木技術者による女子生徒・学生相談コーナー 12/6-7 勉強会 私の役に立った特技、資格、これからやってみたいこと	
東日本支部			10/10-11 ⇒p.16 現場見学会 東日本大震災仙台沿岸部被災状況 11/8 ⇒p.21 土木系女子学生のためのキャリアセミナー 「土木の仕事の魅力と私たちの働き方2014」	

中部支部	9/21 総会報告会			
-------------	---------------	--	--	--

西日本支部	11/15 一時間の座談会はあっという間でした。パネリストのみなさん、お話し上手で、聴講されていた方は、時には頷き、時には笑い、大変感心されていました。	10/25 鳥取県土木工学会中部支部 「土木イメージアップシンポジウム」 11/7 見学会・座談会・懇親会 大阪ガス(株) 泉北製造所 ほか 11/15 国土交通省近畿地方整備局 ふれあい土木展2014 「女性土木技術者座談会」	
--------------	--	---	---



11/7 泉北製造所の工場長の熱のこもったご説明を受けた後、専用のバスに乗車しつつ、広大な施設を案内していただきながら特に今回の現場見学会の目玉である、世界最大級となる最新技術で施工した地上式 LNG タンクの建設現場も見せていただきました。見学会後の座談会や懇親会では、大ガスのドボジョさん達と交流を図り人生のお悩み相談会も兼ねるなど、盛会のままお開きとなりました。〈参加者数:見学会 会員5名 非会員10名/座談会 会員5名 非会員11名/懇親会 会員7名 非会員11名〉

次回総会(2015年6月)は、北海道での開催を予定しています

《フォトレポート》 東日本支部 現場見学会

東日本大震災 仙台沿岸部復旧工事

開催日：2014年10月10日(金)-11日(土)

見学先：〈1日目〉仙台湾南部海岸堤防復旧事業 ほか

〈2日目〉東北技術事務所体験型土木構造物実習施設

参加者数：〈1日目〉63名(うち当会員13名) 〈2日目〉39名(うち当会員10名)

共催：公益社団法人 土木学会 東北支部

東日本大震災から3年が経過した現在も、被災した沿岸部では、堤防、道路、鉄道などインフラの整備・復旧工事が鋭意行われています。

このたび、国土交通省東北地方整備局ならびにJR東日本(株)東北工事事務所のご協力をいただき、復旧工事現場にて現場見学会を開催いたしました。

女性土木技術者向けの見学会としては、東北初の開催でしたが、参加者はスタッフ含め63名！多数の方にご参加いただき、盛況な見学会となりました。

■ 見学会概要

○開催日：2014年10月10日(金)-11日(土)

○見学先：

10月10日(金)

- ・仙台湾南部海岸堤防復旧事業
- ・仙塩道路拡幅事業
- ・鳴瀬川河口部河川復旧・復興

事業概要説明を聞く参加者



事業

- ・東松島市防災集団移転促進事業
- ・JR仙石線陸前大塚・陸前小野間線路復旧(線路移設)工事

10月11日(土)

- ・東北技術事務所体験型土木構造物実習施設

○参加者(会員のみ)：

1日目13名、2日目10名

■ 仙台湾南部海岸堤防復旧事業(国交省東北地方整備局仙台湾川国道事務所) …p.18 地図①

まずは、津波で被災した海岸堤防の復旧工事現場を訪問しま

した。津波により仙台湾南部海岸の堤防は全域で流出または全半壊。堤防30kmのうち約20kmについては、震災後約4か月で応急復旧し、現在は本復旧工事を行っています。

本復旧工事も含め、概ね5年間で完了させる予定ですが、本年5月末までに、すでに7割が完成済です。規模の大きさ、スピードに圧倒される現場でした。

仙台駅から沿岸部への道中、津波浸水域と浸水を免れた地域では、景色が大きく変わります。浸水域では、建物の数も少なく、今でも震災の爪痕が残っています。

■ 仙塩道路拡幅事業(国交省東北地方整備局仙台湾川国道事務所) …②

次に向かったのは、仙台港から北へ延びる仙塩道路の拡張工事現場です。震災後に急激に増加した交通量に対応するため、道路の4車線化拡幅工事及び新たなインターチェンジ(多賀城IC(仮))

設置工事を行っています。

こちらの工事

仙台湾南部海岸堤防復旧事業(上)陸側では林野庁による松林の復旧工事も行われていました/(下)被災が比較的大きかった陸側(裏法)を補強しているそうです





仙塩道路拡幅事業:(上)新設の道路橋の下で説明を受けました/(中)こちらの区間では土木工事はほぼ終了/(下)軽量盛土を利用すると法分だけ必要用地が小さくなります

で大きな課題となったのが、新設IC建設予定地にある埋蔵文化財だそうです。短工期での完成を実現するには、建設予定地全域での文化財調査を実施することが不可能であったため、文化財の本調査を行う地点を杭基礎を設置する橋脚部だけに絞り込みました。さらに、文化財の過度な沈下を防ぐため、軽量盛土を使用しているそうです。

■ 鳴瀬川河口部河川復旧・復興事業(国交省東北地方整備局北上川下流河川工事事務所)・・・③

3つ目の現場は、松島湾をぐるりと回り、鳴瀬川河口付近です。地震後の地盤沈下によって、鳴瀬川河口部では約40cm程度沈下し、河口部流域では浸水被害が発生しました。そこで、河川に



鳴瀬川河口部河川復旧・復興事業:(上)鳴瀬川対岸でも堤防工事を行っています/(中)野蒜水門は嵩上のため、セットバックする計画です/(下)みんなで集合写真

沿った堤防の復旧・嵩上工事を実施しています。

河口の西側にある野蒜^{のびる}水門は、鳴瀬川からの逆流を防ぐものですが、津波で被災したものの、大きな破損はなく、持ち応えたそうです。野蒜水門も、移設・嵩上工事を行います。現状と同様にレンガ張りの外観にすることで景観に配慮する計画だそうです。

■ 長音寺^{ちょうおんじ}にて献花・黙禱・・・④

次の現場に向かう前に、鳴瀬川河口付近に位置する長音寺にて献花・黙禱を行いました。



長音寺での献花の様子



東松島市防災集団移転促進事業:(上)(下)土砂運搬用ベルトコンベヤ

■ 東松島市防災集団移転促進事業(UR都市機構)・・・⑤

津波による被害が甚大であった市街地を、内陸側の安全な丘陵地等へ移転させるため、宅地造成を行っている現場を訪問しました。

途中、突如として道路をまたぐように表れたベルトコンベヤ。これは、工期短縮を図るために設置された、土砂運搬用のコンベヤです。総延長は約1.2km。宅地造成のため搬出する310万m³の土砂を、約1年3か月で運び出すことができるそうです。

■ JR仙石線陸前大塚・陸前小野間線路復旧(線路移設)工事(JR東日本東北工事事務所)・・・⑥

初日最後の現場は、JR仙石線の復旧工事現場です。沿岸部を通っていたルートから、内陸側へ



JR 仙石線陸前大塚・陸前小野間線路復旧工事:(上)景観に配慮した高架橋のデザイン/(中)移設した線路/(下)集合写真

と線路・駅の移設工事を行っています。

松島に近接することから景観に配慮した設計を行っているそうです。高架橋は曲線を取り入れたデザインになっており、スリムな橋脚も特徴的です。

線路にはすでにバラストが敷い



懇親会の様子

てあり、後は機械・電気工事を待つだけの状態です。すぐ横では、UR 都市機構の宅地造成工事を行っていました。

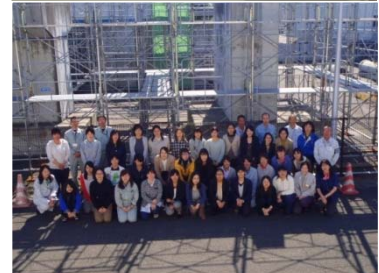
■ 懇親会

現場見学会後は恒例の懇親会。多賀城駅前の居酒屋にて57名で大部屋を貸切。参加者同士の親睦が深まりました。

■ 東北技術事務所体験型土木構造物実習施設(国交省東北地方整備局東北技術事務所)・・・⑦

2日目は東北技術事務所を訪問し、「監督・検査コース」を受講しました。1日目に引き続き会員・非会員39名が参加しました。

コンクリートの劣化機構をわかりやすくご説明いただくとともに、実際に点検ハンマーで音の違いを体感しました。



東北技術事務所体験型土木構造物実習施設:(上)東日本大震災時に被災した橋桁を間近で見学できます/(中)講師の方のコンクリート好きが伝わる講義でした/(下)集合写真

敷地内には、施工手順を模擬した構造物、施工不良を再現した構造物などが陳列されており、実際に見て、触れながら、施工管理のポイントを学びました。

報告:小寺雅子(東日本支部)

【今回の見学会コース】

<1日目>

- ①仙台湾南部海岸堤防復旧事業→②仙塩道路拡幅事業→③鳴瀬川河口部河川復旧・復興事業→④長音寺→⑤東松島市防災集団移転促進事業→⑥JR 仙石線陸前大塚・陸前小野間線路復旧(線路移設)工事

<2日目>

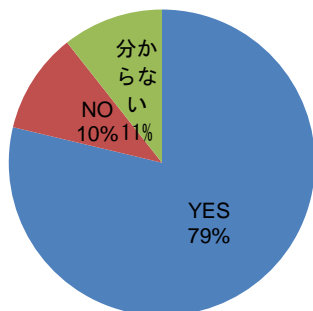
- ⑦東北技術事務所体験型土木構造物実習施設



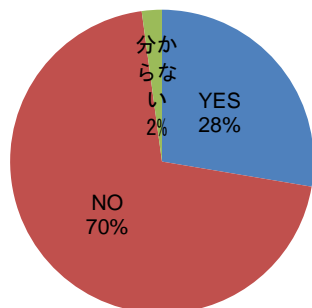
今回、見学会参加者に
事前・事後にて
下記のアンケートを実施しました

参加者事前アンケート結果 回答数 N=47

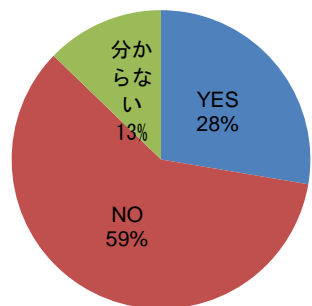
Q1. 自分の仕事は人々に幸せをもたらしていると思いますか



Q2. ご自身のワークライフバランスに自信をおもちですか



Q3. もう一度仕事を選び直せるとしたら土木を選びますか



Q4. 落ち込んだ時、自信をなくしたとき、どのように乗り越えてきましたか

◇気持ちを切り替える

- ★寝る 7
 - ★趣味に没頭する 5
 - ★仕事をまったく考えない1日(時間)をつくる 5
 - ★おいしいものを食べる・食べる 4
 - ★自分へのプレゼント・買い物 4
 - ★仕事と関係ない人と会う・遊びに行く 3
 - ★家族と旅行・温泉 3
 - ★読書2
 - ★風呂・マッサージ・サウナ 2
 - ★夜好きなことをやる 2
 - ★聖書・般若心経
 - ★運動する
 - ★掃除
 - ★子どもの話につきあっていると忘れる
 - ★楽しかった思い出、成功体験、感謝の言葉を思い出す
 - ★カラオケ
 - ★音楽・DVD
 - ★海を見に行く
 - ★ダムを見に行く(先人たちの偉業を見てカツを入れる)
 - ★大音量で音楽を聴きながら夜道の散歩
 - ★翌朝化粧をばっちり決める
- #### ◇話を聞いてもらう
- ★家族 6
 - ★信頼できる友人 5
 - ★周りの先輩 5
 - ★同僚 3
 - ★同期 3
 - ★周囲 2
 - ★上司・昔の上司・初めて配属になったときの現場の所長 3
 - ★仕事とはまったく関係のない人
 - ★恋人

◇思いこむ

- ★ダメだったら仕事を辞めよう 4
- ★いつ辞めても良いからもうちょっとだけがんばろうと思う 4
- ★殺されるわけじゃない、なんとかなる 2
- ★自分に必要な経験
- ★仕事の失敗は仕事で返す
- ★人それぞれ能力が違う。できることを精一杯やろう
- ★これ以上しんどいことはない
- ★猫川柳「その壁の 乗り越え方は 猫に聞け」
- ★犬川柳「悩み事 ぶるっとひとり はい削除」

◇向き合う

- ★泣く 4
- ★自己分析 2
- ★勉強する 2
- ★仕事をする 2
- ★書きとめる
- ★耐える
- ★めいっぱい落ち込む
- ★辛かったことを考える

Q5. 目指している人物を教えてください

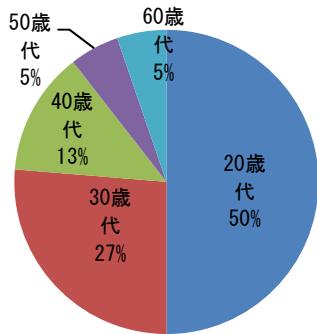
母親 4/マザーテレサ 2/先輩の女性 2/職場の上司・先輩 2/父親 2/八田與一(日本の水利技術者)/博多華丸・大吉/中岡慎太郎/大学時代の恩師/ひろいさみ(港湾工学の父)/坂本龍馬/吉田松陰/高杉晋作/グレートギャツビーのギャツビー/松下幸之助/あおやまあきら(パナマ運河建設に携わった唯一の日本人)/ウォーキング教室の先生 立ち居振る舞い、いつも笑顔

参加者事後アンケート結果

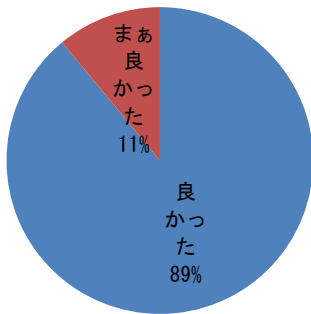
回答数 N=38

<回答率 59% (38/64)>

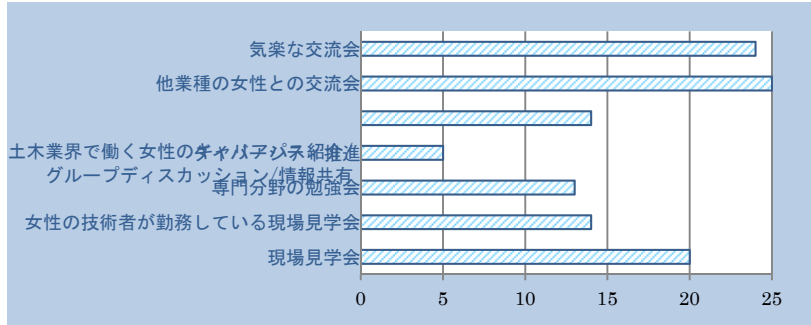
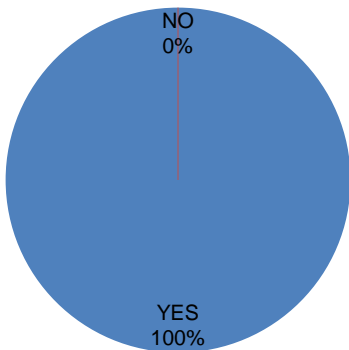
Q1.年齢をお聞かせ下さい



Q2. 現場見学会の感想をお聞かせ下さい



Q3.このような見学会にまた参加したいですか



Q5.参加したい企画

Q4.Q3 回答の理由をお聞かせ下さい

- ★同じような職種の人と知り合いになれたため
- ★今回知り合った人たちとのご縁を続けていきたいし、また新しい人とも知り合いたいから
- ★女性技術者の方々とお話してきた。また、他の現場見学会よりも説明が詳しく働き始めた私にもわかりやすかった
- ★女性が少ないこの業界で、こんなにたくさんの女性ががんばっているのかと、勇気と元気がもらえたから
- ★実際の復興現場を見学することにより視野が広がった
- ★震災復興のタイミングが良いこと、現場が河川、道路、鉄道、まちづくりと多方面であったこと
- ★普段はなかなか見ることのできない現場を、多くの女性技術者の方とともに見ることができる体験型の見学会であったので、とても勉強になった
- ★できあがったものの見学ではなく建設中の現場に入り、説明を受けることができたのでとても良かった

Q5.土木業界で働く女性達が集まる企画としてどのようなものに参加してみたいですか

↑上図参考

Q6.具体的に現場見学の希望箇所があればお聞かせください

- ★東京オリンピックに係る現場
- ★仙台市営地下鉄東西線、どこかのトンネルや、ダムなど
- ★①JR 北海道の青函トンネルの三線軌道化 ②八ッ場ダム方面
- ★海関係の工事、土木遺産
- ★今回のように、造成、橋梁、鉄道など、異なる業種で1つの町やものができる過程を見ることができるとうれしい
- ★三陸沿岸道路関係
- ★施工中の現場 今回見学した現場のような箇所を作業している状況を見学したい
- ★鋼管杭や鋼矢板の打ち込みなどの港湾施設の復旧工事を見たい
- ★地盤調査、地盤改良工事の現場

東京都東京ウィメンズプラザ(東京ウィメンズプラザフォーラム企画)・土木技術者女性の会東日本支部 共催

土木系女子学生のためのキャリアセミナー 『土木の仕事の魅力と私たちの働き方2014』 開催報告

報告:北原正代(東日本支部 支部長)

日 時:2014年11月8日(土) 13:30~16:30

場 所:東京ウィメンズプラザ 第1会議室 A

参加者:学生 11名、社会人 16名 計 27名

写真1 会場の様子



～内 容～

- ライフスタイル紹介「ちょっと先輩の一日」
首都高速道路(株) 佐藤あすみさん
ジオ・サーチ(株) 生野静香さん
大成建設(株) 海野 円さん
- グループディスカッション その1
- 基調講演「私のキャリアパス」
東日本旅客鉄道(株) 小林千佳さん
- グループディスカッション その2



写真2「ちょっと先輩の一日」

東日本支部では、土木系女子学生に「土木の世界で働く私たちの生の声を伝えたい」との目的でセミナー・交流会を開催してきました。手元の資料によると、2005年12月10日、『未来を考える時間～仕事ってなんだらう～』というタイトルで、鹿島建設会議室にて開催していますから、少なくとも9年は続けていることとなります。

今年も7月に東京都より『平成26年度東京ウィメンズプラザフォーラム参加企画の募集』の案内をいただき、応募したところ晴れて当選し、慌ただしく準備が始まりました。

セミナー当日、会場は大学の学部2年生～修士1年生の女子学生11名と、社会人16名(女性15名、男性1名)の計27名の参加者、さらに新聞記者の男性2名、東京ウィメンズプラザの担当者(女性)1名が加わり、狭い会議室が熱気で溢れました(写真1)。

最初に、入社数年目の若手の方々3名から、日常の職場の様子や仕事の紹介をしてもらいました(首都高速道路(株) 佐藤あすみさん、ジオ・サーチ(株) 生野静香さん、大成建設(株) 海野円さん)。日々の仕事を整理したパワーポイント、職場の写真を交え、女性ならではの視点での発表に、時には笑いも起こるなど、和やかな雰囲気の中、それぞれの仕事の特徴がよく理解できました。また、仕事の内容は違っても、責任感をもって真剣に取り組まれている姿勢はどなたも共通しており、遅く感じました(写真2)。

次に、土木の職場で長年働く女性のキャリアパスの紹介として、東日本旅客鉄道の小林千佳さんにご登壇いただきました。小林さんは、1990年(平成2年)に土木部門で初めて採用された女性

写真3「私のキャリアパス」



で、今では同部門に在籍する 150 人の女性の先陣を切って引っ張っていらっしゃいます(写真 3)。鉄道土木の醍醐味や、管理職の立場で苦労したこと、結婚、出産、育児のことなど、ベテランらしい多彩な内容にすっかり聞き入っていました。また、参加者に向けて「女性はハンデだと思っていたけれど、実は強みになっている。」との言葉をいただきました。女性の特性を自分の個性として捉え、一つひとつの経験を肥やしにして成長していく小林さんの姿は、学生のみならず社会人の私たちにも、大変な励みとなり、背中を後押ししてくれる内容でした(写真 4)。



写真 4 会場の様子

また、講演の合間に、5～6 名の小グループに分かれ、学生の質問に社会人が答える場を設けました。学生からは「建設業界で働いている女性が元気で、仕事が楽しそうだから、不安が消え、自分もやっていけそうと思った。」などの感想がありました(写真 5)。



写真 5 会場の様子

さて、最後は懇親会。セミナー参加者の約 8 割の方に参加いただき、大盛り上がりとなったことは言うまでもありません。今回のセミナーのメイン司会者、柏田さんが名幹事ぶりを発揮し会場は笑いの渦。パワー炸裂の懇親会となりました。

最後に、このたびはお忙しいなかで私たちの後輩である女子学生のために、ひと肌もふた肌も脱いで、発表の準備して下さった、小林千佳さん、佐藤あすみさん、生野静香さん、海野円さん、ご協力ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。私たちの経験を学生に直接伝えることの大切さを、再確認することができました。

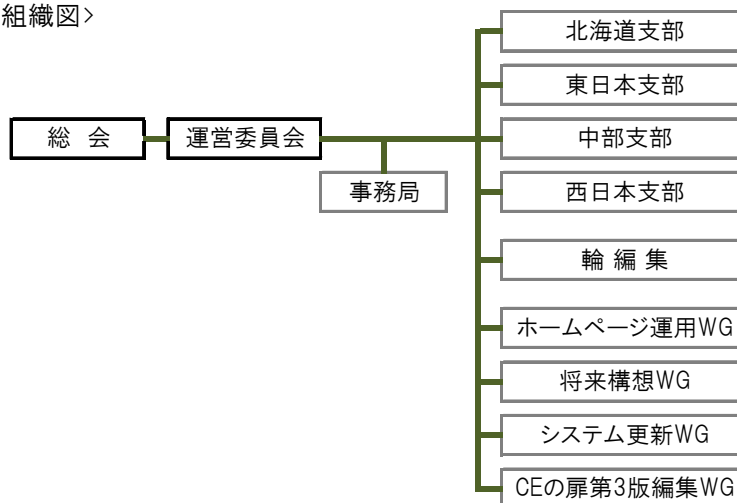
～学生からの感想・意見～

- ◆ これから将来について考えていくなかで、不安や疑問を多く解決できた。
- ◆ さまざまな方のお話を聞けた(職種、ライフスタイル)。人数が少なく、素直な意見が聞けたことがとても良かった。今回、参加させてもらえてとても良かった。非常にためになる企画なので、周囲の友人にも教えてあげたい。
- ◆ 漠然としたイメージしか持っていなかったが、今回で、生活や仕事の面での土木女子の姿が明確になった。
- ◆ 幅広い職種の方のお話が聞けた。自分のやりたいことを追求し、土木の世界で生きていく勇気が湧いた。
- ◆ 仕事にやりがいを持って取り組んでいることが感じ取れました。
- ◆ 自分が知りたかった、現場で働く方の生の声が聞けて良かった。また、その方々が楽しさややりがいを感じている雰囲気を感じ、安心した。(もちろん、つらいこともあると仰っていましたが)
- ◆ 視野が広がったように思う。
- ◆ 女性で、土木で働く方とお話できて、素直に不安な気持ちを言うことができた。自分がこれからどうしたいか、少し見えてきたし、がんばっている先輩方を見て、自分もがんばろうと思えた。
- ◆ 今日は貴重な機会です。実際に土木の仕事をしている方の話を聞いて、将来の不安が消えた。
- ◆ 元気が出た。

組織体制

本会は、下記の組織にて運営しております。

〈組織図〉



〈運営委員および会計監査委員〉※太字は本年度新任の方

【役員】	
会長	桑野 玲子
【運営委員会】	
会長	桑野 玲子
副会長	時弘 みどり
副会長	渡辺 弘子
事務局長	龍 尊子
会計	齋藤 由紀子
北海道支部長	田原 さゆり
東日本支部長	北原 正代
中部支部長	水野 香織
西日本支部長	村上 育子
編集長	箱田 裕子
運営委員(総務担当)	佐藤 亜紀子
運営委員(人材育成担当)	須田 久美子
運営委員(会計顧問)	山田 菊子
ホームページ運用WGリーダー	石橋 理恵
将来構想WGリーダー	牛山 育子
システム更新WGリーダー	山田 菊子
CEの扉第3版編集WGリーダー	渡辺 弘子
【会計監査委員】	
会計監査委員	中西 利美
会計監査委員	関 延子
【事務局】	
運営委員(総務担当)	佐藤 亜紀子
事務局スタッフ:	
福山 貴子/ 松本 香澄/ 新藤 麻子/ 小松本 奈央美/ 佐藤 希絵/ 小川 由布子(会計担当)/ 小畑 敏子(会計 補佐)/ 相馬 優紀/ 佐野 理/ 鈴木 明子/ 田中 真弓/ 牧 野 由依(臨時:総会議事録)	

2014年12月現在

2014年6月27日

関係各位

一般社団法人土木技術者女性の会
会長 桑野玲子

内閣府「平成26年度女性のチャレンジ賞」受賞 及び一般社団法人化のお知らせ

一般社団法人土木技術者女性の会（会長：桑野玲子）は、このたび、内閣府が主催する「平成26年度女性のチャレンジ賞」を受賞しました。

本賞は、多くの国民が個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、チャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援する団体・グループ等を顕彰するものです。

当会は、男性社会であった土木分野において、女性土木技術者の質の向上と活動しやすい環境づくりを目的とした独立団体として創立し、全国規模での総会、見学会やセミナー、シンポジウムなどを通じて、女性土木技術者に対して幅広い年齢層のロールモデル提供の場、指導者育成の場、キャリア継続支援の場を提供してまいりました。また最近では、いわゆる「ドボジョ」の社会的認知に大きく貢献しております。

受賞にあたっては、土木界における女性の活躍を支援するとともに、「ドボジョ」の普及に貢献した実績が高い評価をいただきました。

また、1983年の創立以来、任意団体として30年の長きにわたり活動してまいりましたが、2013年11月18日（土木の日）に一般社団法人土木技術者女性の会として新たに発足し、本年6月21日には、任意団体から移行して初めての総会を開催しました。

当会は、女性技術者の質の向上と活動しやすい環境づくりのために、今後も積極的に活動してまいります。



寄附制度のご案内

土木技術者女性の会は、土木学会誌（1982年9月号）に掲載された「座談会：女性土木技術者おおいに語る」がきっかけで1983年1月に発足しました。任意団体として30年の長きにわたり活動をし、2013年11月18日（土木の日）に一般社団法人土木技術者女性の会として新たなスタートを切りました。全国規模での総会、見学会やセミナー、シンポジウムや支部による活動などを通じて、女性土木技術者、将来の女性土木技術者に対して幅広い年齢層のロールモデル提供の場、指導者育成の場、キャリア継続支援の場を提供しています。

つきましては、一般社団法人 土木技術者女性の会の社会貢献活動への取り組みをご理解いただき、是非、当会への御寄附をお願い申し上げます。

➤ お申込み手続き

1. 土木技術者女性の会のHPより、寄附申込書をダウンロードしてください。
www.womencivilengineers.com
2. 寄附申込書に必要事項をご記入いただき、電子メールもしくは郵送にて寄附受入担当にご送付ください。（送付先は寄附申込書に記載しています）
3. 寄附申込書に記載されている振込口座にご入金ください。（寄附金送金の際の振込手数料につきましては、誠に恐縮ですが寄附申込者のご負担でお願いいたします。）
4. 寄附金の受領後、1ヶ月以内に領収書を郵送にてお届けします。

➤ 税制上の優遇措置について

土木技術者女性の会は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）」に基づいて設立された一般社団法人です。寄附金は法に定める特定寄附金に該当しないため、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象とはなりません。

【参考：国税庁HP】<https://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1150.htm>



「Civil Engineer への扉」は将来を模索している女子高校生や女子大学生の職業選択、土木技術者を目指している女性達の就職活動を支援することを目的とした就職支援パンフレットです。

当会はチャレンジする女性を
応援しています

★会費の納付につきまして★★

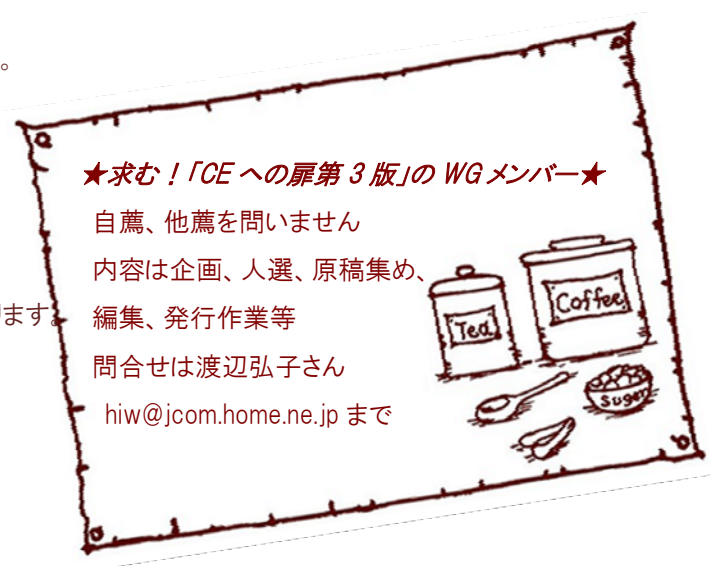
今年度より年会費の納入方法を変更したところ、
早期に納入して下さった会員が1割強増加しました。
コンビニを利用した会員が大変多く、
払込みの利便性が良くなった結果と思われます。
ご協力をありがとうございます。

当会の活動は、みなさまの会費で成り立っています。
また、期限内の納入は事務局作業の省力化に繋がります。
会費の納入にご理解とご協力をお願いいたします。

年会費に関する問合せ

佐藤亜紀子さん(事務局会費担当)

treasurer@womencivilengineers.com



<編集後記>

輪を担当していると、記録を残す大切さを痛感します。
私はその日のあったことを家族に話して次の日にはすっかり忘れていたタイプ。旅行アルバムくらい整理しなくてはと常々思っているのですが…。時間を割いて、過去の記事を整理して下さった方、わかりやすく記事をまとめてくれた方々、今回もありがとうございました。
2015年も素敵な思い出ができますように心を込めて。 「輪」編集長/東日本支部 箱田裕子

北海道支部の編集担当になりました井上涼子です。いきなりミニコーナーで酒飲みの話を暴露してしまって、少し反省しています。北海道も若いメンバーが増えてきたので、みなさんにいろいろ、原稿を書いていただけるようにがんばります。
北海道での総会も近いので、今回はどこで何をするか温泉で話し合う予定です(残念ながら、私は出張で参加できませんが…)。次回から、少し戦力になればと思います。今後ともよろしく願います。
北海道支部 井上涼子

今回より編集員となりました！ よろしく願います。
総会最後に撮った集合写真、みなさん弾けるような素晴らしい笑顔です！
充実したアツい総会を終えることができたからこそその笑顔。
こんな素敵な写真を輪に載せることができ本当に嬉しく思います。
西日本支部 深瀬 尚子

私自身二度目の大阪の総会であり、会社の後輩と参加するということで、いつもよりもリラックスして参加しました。また、中部支部からは私と年の近い方の参加が多く、見学会後の懇親会ではずっと前から知っていたかのように会話が弾み、楽しいひと時を過ごすことができました。別の用事があって総会には出席できませんでしたが、今回の総会の感想を読んだときに、いつものようにピリッとした空気で進行されていたのだと感じました。個人的にはあの空気もとても好きで、私もがんばろう！ というやる気をもらえます。
みなさまのたくさんのご協力と編集長の素敵な編集テクニックで、素敵な輪が完成しました。
お忙しいなか、本当にありがとうございました！
中部支部 森瀬真琴

「輪」への投稿・ご意見は編集長 または、支部担当へ、
その他のお問い合わせ、ご意見は、事務局まで、お願いします。
e-mail : webmaster@womencivilengineers.com

【「輪」編集委員（担当支部）】

箱田裕子(編集長/東日本)、井上涼子(北海道)
深瀬尚子(西日本)、森瀬真琴(中部)

【事務局】

〒163-0606 東京都新宿区西新宿 1-25-1
大成建設株式会社 土木営業本部

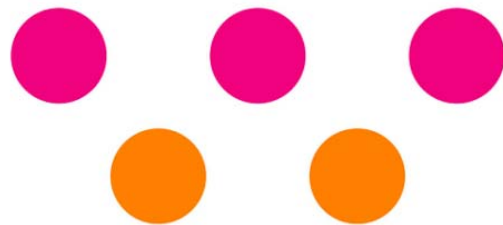
りょう
龍 尊子(事務局長)

2014年度「輪」総会特別号(第56号)

2014年12月22日発行

土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers



The Society of
Women Civil Engineers

土木技術者女性の会
2014年度「輪」総会特別号(第56号)